

(特非) 小網代野外活動調整会議

小網代における河口干潟・陸域湿地の総合的な保全・活用への協働的な取り組み

イベントの延べ参加者数	1,000人
助成活動がメディアに掲載された回数	10回
活動の全体目標に対する達成度	90%



笹藪の刈り払い

◆成果と工夫したポイント

●成果

- ・散策路沿いの笹刈り、湿地環境の回復は90%完了。
- ・ボランティアウォーク、ここボラの期間中の延べ参加人数は1,000名を超え、その中から定例作業への参加者も確保。

●工夫

イベント告知についてホームページの改善、facebookの活用、直接の電話勧誘などを実施した。

課題

長年放置され荒廃乾燥化した小網代の谷の湿地環境を回復して、美的景観及び様々な生息環境を創造すること。また、訪問者や周辺地域への安全確保、マナーの周知が課題。

目標

- ・小網代の森の一般開放に向けての美的景観及び安全の確保。
- ・湿原回復等により、様々な生息環境を創出し、豊かな生物相を維持管理する。
- ・小網代の森の重要性、管理活動の重要性の啓発活動。

活動内容

- ・谷底部分の笹刈り、流路変更による地下水位の上昇、流路日照改善のための間伐等の月1度の定例作業および臨時作業
- ・ボランティアウォークの実施（定例作業日に実施）
- ・こども小網代ボランティア（通称：ここボラ）の実施（年3回実施）
- ・水系における生物調査、干潟における生物調査、湿原における植物調査（毎月実施）



笹を刈り取ったオギ・アシ湿地

達成できなかったこと

ここボラへの地元のこどもたちの参加が少なかった。地元小学校、自治会等との調整に問題があった。

今後の展望

- ・湿原回復には継続的な管理作業や、枝沢の保水力向上が求められる。
- ・地元や企業との連携などの推進が必要である。